


たんぽぽ



NO 17
S63, 10月29日
—発行—
〒869-12
熊本県菊地郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
TEL096
293-8100

うわさ

理事長 田中 稔

公立のある施設の園長が言われました。

『田中さんのやっている事は無謀だ。訳の分からない子を三十〜四十名も集めて、今の指導員数、措置費の枠の中で出来る訳がない』と。

だけど、私がやらなかったら、この訳の分からない子供達をいつたい誰が引き受けていたのだのでしょうか？

同人が言われました。

『建物の色が地味で刑務所みたいだ。』

コンクリートの打ちっ放しが今、ナウイのをご存じないのでしょいか？。ゴテゴテ塗りたくった建物が十五年〜二十年後にどん

なみじめな状況になっているのか考えられた事があるのでしょいか？。又、

『職員に給与を払わないで県の指導を受けた。』とも言われま

した。どの施設にも就業規程や給与規程というものがあるのをご存じないのですか？。

ある人が言いました。

『毎週土、日曜日帰す』と。

私達は月に一度、何曜日でも良から帰宅訓練をしたいとお願

いしているだけです。

ある人が言いました。

『病気になるの家へ帰す』と。

うちの職員が、園生の病氣入院の際には、(歯科でも)二十四時間付き添っている事をご存じないのでしょいか？。

これは義務や権利といったレベルでやれる事ではありません。ある人が又、言いました。『私なら、あんなニワトリの飼いはしない』と。

ほっといて下さい。ニワトリ小屋が東を向いていようが、西を向いていようが。等々。

日本で最初に出来た自閉症施設『あさけ学園』の奥野園長が先日、来園され、素晴らしいお話を聞く機会がありました。

『私達は最初に自閉症施設を作るにあたり、これまでの福祉行政に基づいて設置されている既存の更生施設のやり方の総てを、例えば、食事、入浴、睡眠、作業、薬などその一つ一つを自閉症者にとって、これで良いのかと点検する事から始めなければなりませんでした。』

そういう事をすれば当然、他の施設との間に違いや摩擦を生じる事になり、色々の噂が飛び交う事になります。それをもの

ともせず、堂々とやって来られた事を実に素晴らしいことだと思いました。

我々もつまらぬ『うわさ』の相手をしている暇はありません。

さあ、やらなければ!



療育シリーズ

だったたらネ

園長 土井 尚典

自宅で夕食の時に女房に『暇が出来たらどこかに遊びに行きたいなー』とつぶやきました。小学5年の娘はそれを聞いていて、『グリーンピア南阿蘇に行きたい』と言いました。私は『そこもいいねえ』と返事をしました。そして、その事は忘れてしまっていました。一ヶ月後位の土曜日の夜に娘は、『あした仕事がある?』と私に聞きました。『ないよ』と答えるとニコニコ

していました。日曜日の朝『お父さん、グリーンピア南阿蘇に行く日でしょう』と声かけられました。私は何の事かわからず、『今日は畑仕事を楽しむ日タイ』と言ってしまいました。娘はプリプリと怒ってしまいました。昼過ぎになって以前の話を思い出して、『ああそうだった。』と娘に申し訳無く思いました。『○○だったら、何々したい』と言うと子供は必ずそうすると思ってしまう傾向がある事を忘れてしまっていた訳です。

園内でも、同じような事がよく起こります。『今日の作業は大変だからジュースでも出るといいなあ』と言うと『ジュースが飲める』としっかりインプットされる様です。何故かバリバリ仕事をします。ジュースがでなかつたら大変な騒ぎになります。別の例では、家に帰りたくて、盛んに職員に家の話ばかりしてくる園生に『今週頑張れた

ら、お母さんが迎えに来るかも知れないねえ』とうっかり事実を確認しないで言うと、『今週の土曜日家に帰る』とインプットされ、迎えが無いと納得しなくなりません。たとえ頑張れなくとも、そんな事は理由になりません。

『○○だったら何々する』は『いつ何々する』と聞こえる様です。園生にとってそれ以外はウソになる訳です。この事は園生が悪いのでなく大人の側に責任がある場合が多い様です。

園生を慰めようとか頑張らせようと思って、希望的観測を言う事は園生にとってウソを言っているのと同じ事なのです。たまたま希望的観測が実現したとしても大人の側の体質に『希望的観測を言う癖』があると園生にパニックをおこす引き金を引いているのと同じ事になります。高校一年の私の息子は、私がつぶやくと『だったたらネ』とチ

クリと皮肉を言います。園生は怒りをぶちまけてくれればまだいいんですが。言葉が言えなければ『大人』は訳のわからぬパニックとあってしまうかもしれないですね。



楽しかった バスハイク

バスハイク

十月四日、待ちに待った『阿蘇いこいの村』へのバスハイクの日がやってきました。前日になると、待ちきれないと言わんばかりにソワソワ、ウキウキしている園生に対して、いつもは穏やかな職員もピリピリと神経をとがらせ園生の動きを目で追ったり、興奮気味の園生をなだめる職員の姿があちこちで見かけられました。当日は、朝から天

気も良く、掃除やホームルームがいつもより早く始まったりしましたが皆、混乱なく素早く行動出来ました。たんぼぼの部屋では、職員一美声？の持ち主の波多野指導員が、大きな奇声をあげながら、当日の日程について説明した後、ボランティアの人達の紹介や、班別の顔合わせをしたあとといよいよバスへと乗り込みました。バスの中では、レク担当の高橋、大塚(ち)両指導員によって進められボール渡しゲームやボランティアさん達の自慢のものを披露してもらったりして楽しく過ごしました。

いこいの村に着いてからは、各班に別れてお弁当タイムへと移っていききましたが、そこでとんでもない《やぎ》の闖入にあり、逃げ回ったり追い払ったりしながらの散々なお昼だった班もありました。フリータイムに入ってから、芝生の広場を走り回ったり、アスレチックを楽

しんだり、すべり台に夢中になったり、ミニいかに恐る恐る池を渡ったり、トランポリンで跳びはねたり、草取りをしたり(アレッ!)してとても楽しい一日を過ごせました。帰りのバスの中は、行きのお返しで職員の歌を披露しましたが、それだけがこのバスハイク唯一の汚点だったという話もチラホラ。たくさんのボランティアさん方ありがとうございました。



バスハイクに参加して

熊大 竹内 紀美子

バスハイク、空は晴れ、とてもいいお天気です。みんな楽しみにしていたのか、我先にとバスへ乗り込もうとする姿がほほえましく思えました。私もラッキーなことにはバスに乗る事が出来、ゲーム、そして歌、めったに歌わない私も歌うはめになりました。バスを降りて、いこい

3班 秋 深し

山の作業は、木を切り倒した場所から皮むき場へ丸太を運んで皮をむきます。丸裸の丸太をトラックで園に運び終わると山の作業も一段落となるのですが、こんなに秋晴れの日が続くと作業がなくても山へ足を運びたくなります。そこで栗山を提供して頂き、栗拾いをする事も山の作業にいつのまにか組み込まれています。イガを踏み付けて栗をとり、それをゆでてみんなで食べるのです。皆、栗拾いを若干、苦手としていますが、ゆでるとなったら別の話で、ゆでる時はなぜか一致団結し、鍋のみはり番をしてくれます。しかし、この団結も食べる段階になるとすぐにこわれ、今日の味方は明日の敵とゆずりあう心を忘れます。が、後片付けになるとゆずりあいの心のみで行動している子が殆どです。この行動のメリハリが少しズレてくれないかなーと願うスタッフ一同でした。(大塚)

4班 食欲の秋

天井が高くなったような感じがするくらい晴れわたった10月13日、みんなが待ちに待った梨狩りの日がやって来ました。三気号を含め3台の車で襲撃した先は金峰山の麓にある優峰園フルーツセンターという所です。

イヤー。みんな食べるわ食べるわ…。9個も食べた荒牧君、もういらないと断った文彦君、ひたすら味見の木下さん e t c。それぞれが、園内とは違った顔を見せてくれて、ニコニコと楽しく過ごせた一日でした。

もうすぐ『からいも祭り』もあるし、まさに4班の為に秋があるような感じだけど、食欲結構！いつも元気一杯の4班でいましょうね。

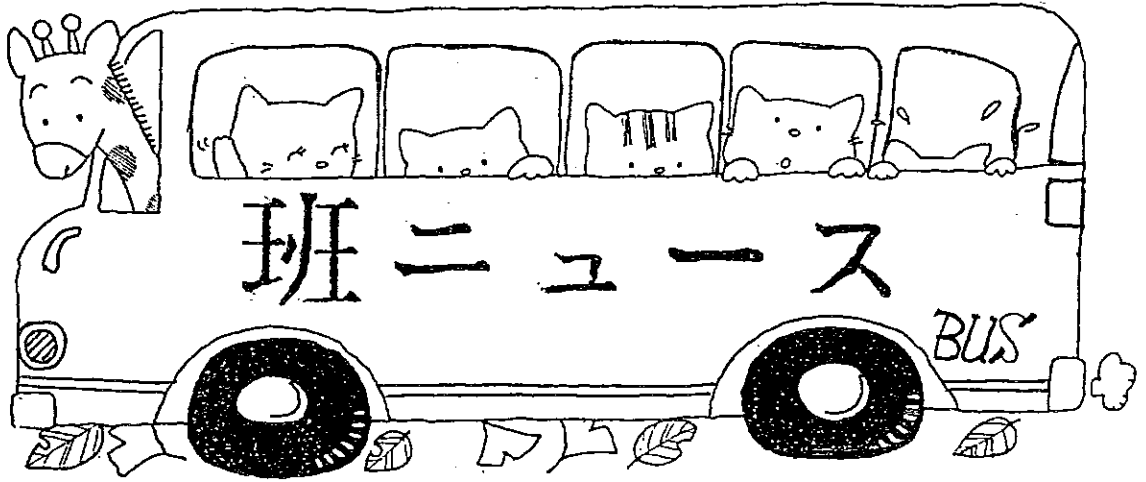
さーて、からいもの次は『お好み焼き』かな……？ (ユ-71-1東)

5班 早く、温泉行きたかな～。

今の5班の仕事は？というと大根畑の水まき、草取り、間引き、肥料まきに追われている毎日です。『今日は何ばすっと？』『草取りがよか』

『ドライブは行くと？』の那須さん。『水まきはしとったよ』と神沢さんに宇都宮さん。職員よりも気が利いて野菜に愛情を注いでくれています。

『もうすぐ、にんじん掘りかな？』『今度は何ば植えようか？』と意欲満々の富田さん。『お金をためて温泉にいかなんなー』と力仕事、畑仕事、三気の里の外に行く事を楽しみにし、色々な夢を膨らませている今日このごろです。10月より5班の仲間に入った私は、よく仕事の出来る皆についていくのがやっとの毎日です。にんじん掘りと大根の収入でどこか行きたかなあー。(日置)



1 班 実りの秋

1班の畑もやっと畑らしくなり、短期栽培で園生に作物の出来る過程を見せようというねらいで、ラディッシュと葉大根を植えました。待ちに待った収穫の時！抜き出したら止まらないという感じ。『もう、いいよ！』といってもまだ抜いてくれる。収穫したラディッシュや葉大根は、厨房さんに頼み、漬け物などにしてもらいました。食卓へ上がってきた時は感激です。みんなもおいしそうに食べてたけど、自分達で作ったあの野菜だということがわかったかな？みんなおいしかったね。今度は収穫してお料理まで作れたらいいね。1班の畑には、他に大根、ほうれん草、ごぼう、ひともじなどが植えてあります。早く大きくな～れ！もうひとつ1班では、ヘチマのタワシ作りを今から始めます。欲しい方、どうぞ買って下さい。

(武藤)

2 班 草取りならお任せ下さい

2班のがんばるずの面々に、新しく久美ちゃんを加え、しゃべる弾丸の聖子ちゃんと、のんびりしすぎの加代ちゃんと、口上手で金もうけ大好きなちーちゃんこと私と、このハチャメチャな指導員3人に振り回され『いっちょんすかん』を連発する園長は、なんと！園外でも草取り作業や畑仕事をしています。阿蘇の畑に行ったり、大津町の宮井さん宅にお邪魔したりして、一生懸命働いています。草取りならお任せの2班の面々は、働く事も人一倍ですが、食べることも人一倍で、おやつや、おいしいご飯を食べる時、無情の喜びを感じています。こんな2班ですが、草がたくさん生えて困っている方は、ご連絡下さい。すぐに2班のがんばるずと、うるさい3人組と園長とでかけつけ、やっつけさせていただきます。(高橋)

の村ではたくさんの遊び場があり、次々にどんどん進んで行く園生。私はその後をついて行くのが精一杯。でも、みんなの明るい表情や笑顔がとても印象的で、一緒になって思う存分遊びました。また、もう一つ忘れられないのが、お弁当、おやつ争奪戦です。《ヤギ》も参加して……。とにかく楽しいひととき、そして帰りのバスでは、コックリ、コックリの疲れた一日でした。



ただいま

食営玉営日営中

バスハイクの日の8時のおやつは、白玉ぜんざいでした。どうしてかと言いますと、『絶対その日はみんな遊び疲れて帰って来るので何か甘い物が良い。』という厨房の勝手な思い込みからです。

おやつの時間になりました。味は分かっただかなと思うくらいペロリと食べてしまう園生、白玉一個一個をゆっくり時間をかけている園生様々です。でも、みんなおいしそうに食べていました。そして、その日は指導員も、遊び疲れているようだったので、特別にぜんざいのおすそ分けがありました。

食事作り同様、おやつも何が良いかといつも4人で話し合いながら作っています。手軽でおいしく出来るおやつ作りを知っている方、厨房まで知らせて下さい。

バスハイクの一日も無事終わりました。みんな一緒に行けてよかったです。

岩本



実習を終えて

尚綱短大 2年 清田美加

三気の里に活気が戻り始めた八月二十二日から私の実習がスタートしました。三気の里のみんなと出会ったのは昨年十二月頃でした。それから園生とつき合いが始まりました。実習という事で緊張していた私に安心感を与えてくれたのは、みんなの笑顔、威勢のいい声でした。私は4班に入りじりじり日の照り続ける中、園生と一緒に農作業をしました。そんな中でS君の担当となり毎日体力、気力との戦いでした。一日大部分を一緒に過ごしているうちに心を開いてくれ、フツと見せてくれる笑顔で、今までの疲れもいっぺんにどこかへ飛んでいきました。発見発見の毎日で一日一日が大変おもしろく、とても充実していました。

年金について

保護者会長 魚谷秀文

私達が子供を三気の里に入園させてから1年以上がたちました。保護者同志も保護者会や除草作業など園の行事を通じて、お互いに顔見知りとなり親睦を深めてまいりました。

この間、施設の事も色々と分かってまいりました。先生方の頑張りを見ていますと我が子にここに預けて良かったと思っております。

三気の里で子供達は三十年、四十年生活する事になります。いつまでもその生活の場が清潔で充実したものであって欲しいものです。

作業棟も欲しい！体育館も欲しい！プールも欲しい！してやりたい事がたくさんあります。措置費だけでは私達の希望する、満足のいく生活環境を作り、維持していく事は困難の様に思います。

親として出来る限りの事はし
てやりたいと思います。まず、
親が子供の為に自らやらねば他
人様にお願ひする事は出来ませ
ん。

子供達の為に支給されている
障害年金も子供達自身の為に使
てやりたいものです。年金の何
分の一でも保護者会で積み立て
等行つて、子供達の生活の場と
しての三気の里をみんなで育て
ていきたいものです。

親なき後も子供達が人間らし
く生きていける場を育てていく
為の財源を保護者自ら準備して、
親同志が協力しあい、子供の将
来に備えたいと思います。

さあ、みんなで三気の里を
育ててみましょう！



育の大成

与気になる

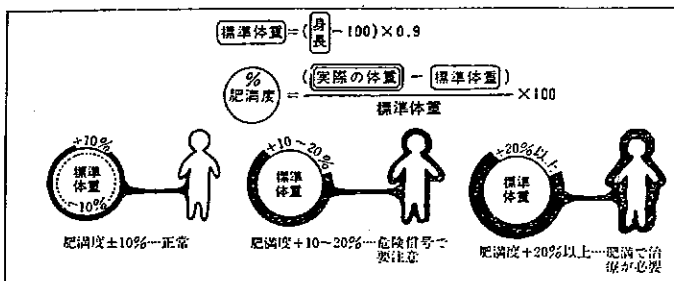
栄養食の話し

秋です。食欲の秋、しかし、
食べ過ぎには注意しましょう。

「食べ過ぎは、肥満のもと」
です。肥満にも程度の差があり、
肥満と健康の線をどこに引くか
という事は難しい事なのです。
一般には標準体重を計算し、実
際の体重と比較して、どれだけ
多いかをパーセントで

表を参考
にして、自
分の肥満度
を測定して
みませんか。
興呂木

肥満度の測定



1 1月の行事予定

1(火)	11(金)	21(月)誕生会
2(水)体重測定	12(土)帰宅訓練 父兄会	22(火)
3(木)さつまいも祭(岡崎 高野 荒牧)	13(日)	23(水)
4(金)	14(月)	24(木)4班ワ(井手上 光山 中嶋)
5(土)	15(火)防災訓練	25(金)
6(日)	16(水)	26(土)
7(月)	17(木)2班ワ(佐々木 島津)	27(日)
8(火)	18(金)	28(月)
9(水)	19(土)	29(火)
10(木)1・3班ワ(甲斐 安部 石崎)	20(日)	30(水)

さようなら
重ちゃん

村上さん

残念なお知らせをしなければなりません。皆の仲間、1班の重ちゃんと、3班の職員の村上さんが都合で三気の里を退所、退職されました。

残念だけど、重ちゃん、村上さん、また気軽に、遊びに来て下さいね。お元気で！

二二五八の田生ニュース

○新入園生・職員紹介

・2班に久美ちゃんという可愛い女の子が加わりました。部屋には、光ゲンジのすてきなポスターが輝いています。

・田辺指導員(看護士)が3班の仲間に、東指導員が4班の仲間になりました。皆さんよろしくお願ひします。

○田之上2世誕生

指導員の田之上家に待望の2世『隼斗』くん男の子が誕生しました。おめでとうございます。

後援会云だより

後援会継続会員紹介

尾道幸子

松本英明

園田 卓

倉田幸助

藤原サヨ

十月二〇日付け

※敬称略

||| 編集集後記 |||

この頃、「いつもたんぼぼ楽しく読んでるよ。」など、嬉しい声を戴きます。おかげで御機嫌な編集部です。何か頑張るぞーという意欲が湧いてきます。

今日は園内大掃除の日。せっかく大掃除をしたのに、この編集部ときたら、あくあもう足の踏み場もない程に散らかして！たんぼぼ17号は、今出来上がりでしたが、今から大掃除パート2の始まりです。(波多野)